

事業所名: グループホーム わらび苑

作成日: 平成 27 年 1 月 10 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	26年度は防災計画(試案)も作られ、自然災害に関する内容も盛り込まれている。簡易トイレや飲料水、食糧の備蓄も更に整備する予定であり、防災計画(試案)の確認及び実施に向けた取り組みを行う予定である。	平成27年度当初から実施するよう取り組む。	防災計画(試案)のうち、備蓄すべき食糧、飲料水、簡易トイレについては、3月開催予定の運営推進会議までに購入できるよう取り組んで行く。	3 ヶ月
2	1	“みんなで、いっしょに”という理念には、「地域で、地域の人を、地域の人が」という意味が込められている。今後も介護のプロとしての力を活かし、職員主体で地域の方々との集いの機会を作り、認知症ケアを伝えていければと考えている。	年4回程度の開催を目指す。	入居者の家族、地域住民、各種団体等に小規模(10人名以下)での開催を積極的に呼びかけて行く。	12 ヶ月
3	10	「家(離島)に帰りたい」「自宅で野菜を作りたい」等の要望が聞かれている。ご本人の夢を諦めない姿勢を大切に、介護計画の1表「望む暮らし」や2表「長期・短期目標」を具体化し、家族も一緒に取り組んで行く予定である。	本人に寄り添い、家族とともに本人の希望を叶えられるような体制を整える。	「コミュニケーション記録簿」を活用し、その内容を家族に発信していく。また「コミュニケーション記録簿」に基づいて作成していた「またんね」を年3回程度定期的に発行し、本人の希望を家族に伝え、希望が叶えられるよう家族といっしょに考え取り組んで行く。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月